

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
35201	オーストラリアの文化と社会 Australian culture and society	青山 晴美	専門	2	選択	1・2 年 前期
科目の概要						
本講義の目的は、オーストラリアの文化や歴史、社会を広い視点から学ぶことである。先住民アボリジニの文化、そして、イギリスの植民地からはじまったオーストラリアが、どのような経緯を経て、現在に至ったのかについて学ぶ。また、日本とオーストラリアの関係を歴史的に学び、未来における展望を探っていく。社会人として必要な国際関係の知識を養うことで自身の可能性を広げることができる。						
学修内容			到達目標			
① オーストラリアの建国について知る。 ② オーストラリアの発展について知る。 ③ 日本とオーストラリアの関係のはじまりについて知る。 ④ 多文化主義について知る。 ⑤ 21 世紀の展望と日本との関係について知る。			① 先住民アボリジニの文化を理解することができる。 ② イギリスの植民地から、オーストラリアがどのように独立して現在の国になったのかが理解できる。 ③ 日本とオーストラリアとの関係について理解できる。 ④ 多文化主義国家はどのように生まれたのかを理解できる。 ⑤ 日本とオーストラリアの今後あるべき関係を理解できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例				
前 踏 出 す 力	主体性	・オーストラリアを理解するという目標にむかい取り組むことができる。 ・毎回のワークシート作成では、講義以外でも自分の集めた情報を使うことができる。 ・授業以外の時間を使い、自分で調べたことを記述して質問できる。				
	働きかけ力					
	実行力	毎回、ワークシートを作成して提出することができる。				
考 え 抜 く 力	課題発見力	毎回のテーマにおいて、情報を整理して課題を見定めることができる。				
	計画力					
	創造力	与えられたテーマに対して、固定概念やそれまでの知識にとらわれず、様々な視点から考えることができる。				
チ ム で 働 く 力	発信力	講義内容と自分の意見を的確な文章で表現できる。				
	傾聴力	問題意識をもって講義を聞き、自分の意見を表現できる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など、講義に支障をきたす行動をせずに、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:「アボリジニで読むオーストラリア」青山晴美著 明石書店 2200 円 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:「アメリカの文化と社会」を受講していることが望ましい。 資格との関連:なし						
学習上の助言			受講生とのルール			
毎回の授業は時系列で連続しているため、先回の授業内容を復習してください。常に、「どうして、こんな事になったのだろう」などの、疑問をいただきながら授業内容を聞いてください。 オーストラリア関係のニュースや番組に関心をもって、視聴してください。			ワークシートは毎回提出してください。 携帯の電源は切りカバンにしまっておくこと。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	達成目標		各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	60	①	✓	・授業で学習した内容の理解度を確認する。 ・基礎内容を理解し、自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。 ・問題を適切にとらえて、それに対して自分の意見を主張できているのかを評価する。 課題①多文化主義国家オーストラリアの成立と現在、課題②日豪関係と今後の展望 A4 4枚 標準仕様
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性)ワークシート作成に役立つ予習・復習をすることができる (実行力)毎回の課題を理解してワークシートを提出することができる。 (課題発見力)授業での課題を明確にすることができる (創造力)様々な視点から課題を考えることができる。 (発信力)自分の意見を文章で伝えることができる (傾聴力)問題点を確認しながら授業を聞くことができる (規律性)遅刻や欠席をしない
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他	30	①	✓	・毎回の授業でワークシートを作成する。 ・毎回の授業でのポイントをまとめて、自分の意見を書く。 ・ワークシート提出(2点×15回=30点) ポイント ①毎回の授業内容を理解しているか ②これに対して、自分はどんな意見をもっているのか
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
オーストラリアの歴史を、植民地時代から現代まで理解している。アボリジニ文化について理解している。日本との関係を歴史的に理解し、未来に向けての提言ができる。①自分で情報を集めて、独自の見解が述べてある。② Sは①+② Aは①	オーストラリアの歴史を、植民地時代から現代まで理解している。アボリジニ文化について理解している。日本との関係を歴史的に理解している。①独自の見解はないが授業で学んだことが書いてある。② Bは①+② Cは①が不十分と判断された場合。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバックの方法	達成レベル C(可)の目安	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	・授業の進め方の説明 ・オーストラリアのはじまり アボリジニとイギリスから来た 囚人	講義 ワークシートの作成と提出	・アボリジニの文化を理解する。 ・イギリス人がなぜオーストラリアに移民したのかを理解する。 授業内容がワークシートにまとめてある。自分の意見が書いてある。	(復習)講義ノート内容を復習する。 (予習)オーストラリアに関連する記事を探す。	90 90	主体性 課題発 見力
2週 /	DVD を見てオーストラリアを知る。 ・自然と一体化して暮らすアボリジニの文化 ・オーストラリアの奥地と牧畜産業	先回提出のワークシートを採点してフィードバックする。 講義 DVD ワークシートの作成と提出	・オーストラリアの奥地にある牧場を舞台にしたDVDをみて、アボリジニの考えと「白人」との関係を理解する。 ・授業内容がワークシートにまとめてある。自分の意見が書いてある。	(復習)講義ノート内容を復習する。 (予習)オーストラリアに関連する記事を探す。	90 90	主体性 課題発 見力
3週 /	・DVD を見てオーストラリアを知る。 アボリジニの子どもの施設送り	先回提出のワークシートを採点してフィードバックする。 講義 DVD ワークシートの作成と提出	・なぜオーストラリアはアボリジニの子どもを施設に送り「白人化教育」をしたのかを理解する。 ・1930年代の様子をDVDでみて理解する。 ・授業内容がワークシートにまとめてある。自分の意見が書いてある。	(復習)講義ノート内容を復習する。 (予習)オーストラリアに関連する記事を探す。	90 90	主体性 規律性
4週 /	・DVD を見てオーストラリアを知る。 第二次世界大戦時における日本とオーストラリア	先回提出のワークシートを採点してフィードバックする。 講義 DVD ワークシートの作成と提出	・オーストラリアを攻撃する日本軍とダーウィンの人々の様子をDVDで見る。 ・授業内容がワークシートにまとめてある。自分の意見が書いてある。	(復習)講義ノート内容を復習する。 (予習)オーストラリアに関連する記事を探す。	90 90	主体性 課題発 見力
5週 /	アボリジニの大地	先回提出のワークシートを採点してフィードバックする。講義 ワークシートの作成と提出	・アボリジニ文化と価値観を理解する。 ・授業内容がワークシートにまとめてある。自分の意見が書いてある。	(予習)教科書 第一章「アボリジニの大地」を読んでおくこと。 (復習)講義ノート内容を復習する。	90 90	主体性 実行力
6週 /	イギリスの植民地としてのオーストラリア no1	先回提出のワークシートを採点してフィードバックする。 講義 ワークシートの作成と提出	・なぜイギリスはオーストラリアに来たのかを理解する。 ・イギリス人はアボリジニをどう扱ったのかを理解する。 ・授業内容がワークシートにまとめてある。自分の意見が書いてある。	(予習)教科書 第二章「ヨーロッパ人がやってきた」を読んでおく。 (復習)講義ノート内容を復習する。	90 90	主体性 発信力
7週 /	イギリスの植民地としてのオーストラリア no2	先回提出のワークシートを採点してフィードバックする。 講義 ワークシートの作成と提出	・アボリジニの虐殺を認める社会進化論とレイズムを理解する。 ・授業内容がワークシートにまとめてある。自分の意見が書いてある。	(予習)教科書 第二章「ヨーロッパ人がやってきた」を読んでおく。 (復習)講義ノート内容を復習する。	90 90	主体性
8週 /	オーストラリアの国づくり No1 建国前夜・日本との関係のはじまり	先回提出のワークシートを採点してフィードバックする。 講義 ワークシートの作成と提出	オーストラリアにきた日本人移民と排日運動を理解する。 ・授業内容がワークシートにまとめてある。自分の意見が書いてある。	(予習)第三章の「オーストラリアの国づくり」を読んでおく。 (復習)講義ノート内容を復習する。	90 90	主体性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況
把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバックの方法	達成レベル C(可)の目安	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 / 90	オーストラリアの国づくり No.2. 1901年オーストラリア建 国 白豪主義	前回提出のワークシ ートを採点してフィードバ ックする。 講義 ワークシートの作成と提 出	・なぜ白豪主義にしなけれ ばいけなかったのかを理解 する。 ・授業内容がワークシートに まとめてある。自分の意見が 書いてある。	(予習) 第三章の「オ ーストラリアの国づく り」を読んでおく。 (復習) 講義ノート内 容を復習する。	90 90	主体性 課題発 見力
10週 / 90	オーストラリアの国づくり No.3.多文化主義	前回提出のワークシ ートを採点してフィードバ ックする。 講義 ワークシートの作成と提 出	・なぜ多文化主義の国にな ったのかを理解する。 ・授業内容がワークシートに まとめてある。自分の意見が 書いてある。	(予習) 第三章の「オ ーストラリアの国づく り」を読んでおく。 (復習) 講義ノート内 容を復習する。	90 90	主体性 実行力
11週 / 90	現在オーストラリア社会をめぐ る問題 No.1.文化をめぐる問題	前回提出のワークシ ートを採点してフィードバ ックする。 講義 ワークシートの作成と提 出	オーストラリアの観光産業に 利用されるアボリジニ文化の 現状を理解する。 ・授業内容がワークシートに まとめてある。自分の意見が 書いてある。	(予習) 教科書の第四 章「多文化主義とアボ リジニをめぐる問題・ 文化をめぐる問題」を 読んでおく。 (復習) 講義ノート内 容を復習する。	90 90	主体性 発信力
12週 / 90	現在オーストラリア社会をめぐ る問題 No.2.土地権をめぐる問題	前回提出のワークシ ートを採点してフィードバ ックする。 講義 ワークシートの作成と提 出	オーストラリアで起こったア ボリジニの土地権回復裁判 からオーストラリアの現状を 理解する。 ・授業内容がワークシートに まとめてある。自分の意見が 書いてある。	(予習) 教科書の第四 章「多文化主義とアボ リジニをめぐる問題・ 土地権をめぐる問題」 を読んでおく。 (復習) 講義ノート内 容を復習する。	90 90	主体性 課題発 見力
13週 / 90	現在オーストラリア社会をめぐ る問題 No.3.健康をめぐる問題	前回提出のワークシ ートを採点してフィードバ ックする。 講義 DVD ワークシートの作成と提 出	健康をテーマに貧困問題を 考えつつ、オーストラリアの 現状を理解する。 ・授業内容がワークシートに まとめてある。自分の意見が 書いてある。	(予習) 教科書の第四 章「多文化主義とアボ リジニをめぐる問題・ 健康をめぐる問題」を 読んでおく。 (復習) 講義ノート内 容を復習する。	90 90	主体性 課題発 見力
14週 / 90	現在オーストラリア社会をめぐ る問題 No.4.移民をめぐる問題	前回提出のワークシ ートを採点してフィードバ ックする。 講義 ワークシートの作成と提 出	現在、オーストラリアがかか える移民の問題について理 解する。 ・授業内容がワークシートに まとめてある。自分の意見が 書いてある。	(復習) 講義ノート内 容を復習する。	90 90	主体性 規律性
15週 / 90	・まとめ ・オーストラリアと日本	前回提出のワークシ ートを採点してフィードバ ックする。 講義 ワークシートの作成と提 出	・オーストラリア建国から現在 に至るまでの歴史を振り返 り、概略を理解する。 ・21世紀の日本とオーストラ リアの関係を模索する。	(復習) 講義ノート内 容を復習する。	90	主体性 課題発 見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況
把握力 規律性 ストレスコントロール力